

2025 年 8 月 28 日

各 位

県内大学生の就職観に関する調査

～就職・採用で学生と企業が重視する項目にギャップあり～

株式会社いよぎん地域経済研究センター（略称 I R C、社長 矢野 一成）は、このたび標記の調査結果をとりまとめましたので、その概要をお知らせします。

なお、詳細は 2025 年 9 月 1 日発行の「IRC Monthly」2025 年 9 月号に掲載しています。

記

【調査概要】

- ・ 愛媛県では若年層の県外への転出超過が続いているなか、愛媛大学と松山大学の学生を対象に就職観に関するアンケートを実施して県内大学生の就職観をとりまとめるとともに、前月の調査レポートの企業の意向などに関連付けて、現状把握を行った。
- ・ 2024 年に愛媛大学と松山大学の学生が県内に就職した割合は 43.4%で、2021 年から低下傾向にある。一方、アンケート結果では県内出身者・県外出身者ともに、愛媛で就職したい学生の割合が上昇する傾向にあり、全体の 51.0%が県内就職を希望している結果となった。
- ・ 県内企業や主要産業の認知度を尋ねたところ、約半数が「知らない、ほとんど知らない」と回答した。また、県内企業や主要産業の具体的な情報源を尋ねると、「大学の授業」（49.6%）が最多となったが、学生からは「大学講義で知る県内企業は有名企業が多く、中小企業を知る機会はほとんどない」との声が多くあった。
- ・ 学生に企業の採用活動で重視するものを尋ねたところ、インターンシップや労働環境・働くイメージに関する情報発信を重視する声が多かった。企業が採用活動で重視している項目と比較すると、労働環境・働くイメージに関する情報発信や内定後の継続的な交流で大きなギャップがあった。
- ・ 県内就職割合は低下傾向にあるが、アンケート結果によると県内に就職を希望する学生の割合は上昇している。この県内就職希望者の増加を実際の県内就職につなげるためには、県内企業の認知度を上げるための企業による情報発信方法の工夫など、企業と学生間のギャップの解消がカギを握るのではないだろうか。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】株式会社いよぎん地域経済研究センター（担当：中井） TEL (080) 2990-1166